

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事概要

- 1 日 時 令和6年7月5日(木) 開会 10時00分 閉会 11時30分
- 2 場 所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者
- | | | | | | | |
|----|-----|------|----|-----|--------|---------|
| 委員 | 五老海 | 正 登 | 委員 | 東 | り | え |
| 委員 | 恵 谷 | 栄 一 | 委員 | 琵琶 | 学 | |
| 委員 | 大 倉 | 明 | 委員 | 山 根 | 人 | |
| 委員 | 河 田 | いづる | 委員 | 山 本 | 一 子 | |
| 委員 | 栗 林 | 太 一郎 | 委員 | 山 本 | 育 和 | |
| 委員 | 谷 | あゆみ | | | | 音 (敬称略) |
| | | | 委員 | 藤 原 | 修 (校長) | |
- 事務局 教 頭 藤 田 美 絵
事務部長 佐 藤 和 志
指導教諭 岡 本 崇 志
指導教諭 川 保 真 砂 美

4 議事の概要

開会

- (1) 会長及び副会長の選出
山根一人委員を会長、東りえ委員を副会長とすることに決まった。
- (2) 説明
校長が令和6年度の学校経営計画について説明した。
事務局担当者から、学校経営計画及び目標達成に向けた具体的方策について、教育課程の編成について、授業改善について、組織編成について、予算執行について、をそれぞれ説明した。
校長から、地域との協働に係る取組「エリア探究活動 プラタマノ」「エリアティーチャー」についての説明を行った。
- (3) 意見交換
校長及び事務局からの説明を受け、各委員で意見交換を行った。概ね次の2点について意見が交わされた。

I. エリア探究「プラタマノ」に関すること

- エリアティーチャーへの協力は承知したが、今後どのように進めていくのか等、カリキュラムをきちんと協議して決めてもらいたい。
- 「エリア探究」「エリアティーチャー」について具体的にイメージがつきにくい。
→修学旅行の「班別研修」のように、自分たちで企画・立案し、先方にアポイントメントを取り、自分たちで考え行動してインタビューし聞き書きして、最終報告をまとめるイメージ。
「過去」というテーマでいくと、昔の武勇伝や地域で頑張った人を取り上げたい。「現在」であれば、企業や店舗、名所等地域の”でえれえもの”を探して紹介する。そして、「未来」にこの地域がこうなってほしい、こうしていきたい提言をし、成果冊子ができれば、自分たちが頑張った「証」になる。それが、進路につながったり、将来の「エリアティーチャー」につながったりして欲しい。

II. 生徒の学校生活や教員の「働き方改革」に関すること

- 生徒の自主性を大事に考えていることは分かったが、頭髮服装がそこまで指導していかなければならないのか。
→入学当初は緊張の中でいるが、段々と打ち解けていく中で、おしゃれしたい年頃の気持ちを持つ生徒も出てくる。しかし、「入試の場や社会へ出た時に、自分を客観視した時にどう見られるのか、しっかり考えて欲しい、と日々伝えている。状況を見ながら柔軟性を持って指導し、対話を繰り返しながら生徒自身に気づかせるようにしている。
- 「電子出席簿」を導入したとのことだが、どのような様子か。
→各教員が教務手帳を持って授業に行って出欠確認をし、授業後PC上で電子出席簿に入力をする。選択授業が多く、出欠管理が非常に難しくなっていたが、簡単にプルダウンで一斉に入力できるので、管理しやすくなった。
- 「働き方改革」についてどういう状況か。
→県立高校の超過勤務時間は月平均52時間であるが、本校は月平均46時間と抑えられている。やりがいを感じられる環境を整えようと、休憩時間をゆったり取れるようにしたり新任者とは日々コミュニケーションを取ったりしている。経験値のある40代、50代教員が仕事を引き受けて回している現状もあり、休める時に休むようにしている。

(4) 協議

協議の結果、出席委員全員の賛同をもって、今年度玉野高校の、①学校経営について、②教育課程及び組織編成について、③予算執行について、いずれも承認された。

閉会